

人権まちづくり新聞

第5号
編集発行
枚方人権
まちづくり協会

人権まちづくり協会

福井県敦賀市で現地研修

若州一滴文庫などを訪れる

十一月十一日、福井県おおい町の「若州一滴文庫」と敦賀市の「敦賀ムゼウム」で現地研修会を行いました。

一滴文庫はおおい町出身の直木賞作家、水上勉さんが私財を投じつくった施設です。名前の由来は貧しい少年時代を送った水上さんが「一滴の水も粗末にするな」という禅宗の教えに共感して命名。施設には「誦



みたくても本を買えない少年たちに」と約2万冊の蔵書、水上作品に登場する竹人形等のギャラリー、そして竹藪を舞台の背景に取り入れた車椅子劇場など。水上さんはビデオの中で、「貧乏であったからこそ好きな文学に出会い、人生や夢を拾った。だから貧乏に感謝している」と語られています。

午後は、大陸からの玄関口だった敦賀港の『敦賀ムゼウム』で、敦賀市の歴史を学びました。ロシア革命により家族を失ったポーランド孤児が入国した時、杉原千畝さんの『命のビザ』でユダヤ人難民が上陸した時、敦賀の人々は暖かい手を差し伸べました。まさに

敦賀港は人道の港でした。研修の参加者からは「心の温まる見学先でよかった」「知らなかった歴史に触れた」等の感想が寄せられました。



ご存じですが駐車場の妊婦マーク

妊婦やバギーなどで小さな赤ちゃんを連れたい人が、電車やバスなどでじゃまもの扱いされ嫌な思いをされるなど、世間の人々の無理解が問題になっています。



政府は「合計特殊出生率（二人の女性が一生に産む子供の平均数）」を現在の1.42から1.8にしたいと考えていますが、妊婦などがじゃまもの扱いされる社会では、その実現はおぼつきません。

本来、子どもはその社会の未来を担う宝物。社会全体で育てていくことが大切なはず

その意味では、昨今、駐車場に「妊婦マーク」が置かれたり、画かれたりするようになったことは一つの進歩だと思えます。

これまでは妊娠されている方は、障がい者マークのある場所に駐車することは可

こんなことやってます
枚方人権まちづくり協会

| | |
|--|---|
| <p><人権まちづくり協会> TEL 072-844-8788（「福祉なんでも相談」を除く） [人権なんでも相談] 月～金/9時～17時半 [地域就労支援相談] 月～水/金 9時～17時半 （要予約） [進路選択支援相談] 火曜日（要予約） 13時～17時/18時～20時 [福祉なんでも相談] 月～金/9時～17時半 専用TEL 072-844-8866</p> | <p><男女共生フロアウィル> 以下、利用は女性のみ [電話相談] 月10時-12時/13時-17時 木13時-16時/17時-21時 専用TEL 072-843-7860 [生き方相談(要予約)] 水 13時-21時 金 10時-17時 TEL 072-843-5636 [法律相談(要予約)] 第2金/第3木/第4土 13時-16時 第1金 17時-20時 TEL 072-843-5636</p> |
|--|---|

枚方市岡東町12-1-502 サンプラザ1号館5階

人権週間事業

音楽から人権を考える

ヒューマンライツコンサートに200人

十二月二日、メセナ枚方で、当協会と枚方市が共催した「ヒューマンライツコンサート」『人権と音楽』が開催され、二〇〇人を超える市民が参加。力強い松本さんのお話に引き込まれ、それぞれの曲が生み出された背景に思いを馳せながら曲に聴き入りました。「フィガロの結婚」は、結婚の自由を求めて生まれた音楽、

「カルメン」は女性の自由と自立が象徴された曲。さらにはゴスペルから日本の曲に至るまで、こんなにも音楽から人権を考える事が出来るのかと、参加したみなさんが、改めて音楽で表現できる事の素晴らしさを感じたコンサートでした。また「アンサンブル・サビーナ」の皆さんの演奏は、お互いに相手を思いやり対

話することの大切さ、そして、自由を求めるオリジナリティの大切さを教えてくれたコンサートでした。またロビーでは「北朝鮮拉致問題を考える」パネルが展示されました。



【写真右】力強く話される松本城洲夫さん 【写真下】アンサンブルサビーナのみなさん



紹介します いきいきネット相談支援センター

「いきいきネット相談支援センター」では、高齢者、障がい者、ひとり親家庭など何らかの支援を要する方、またはその家族、関係機関の福祉（生活）に関するあらゆる相談に対応しています。

いきいきネット相談支援センターの大きな特徴としては、年齢や障がいの有無、相談の内容で対象を区切らない、ということです。センターで相談に対応する職員を枚方市では「コミュニティソーシャルワーカー（CSW：福祉相談員）」と呼んでいますが、市民の様々な相談に対して電話だけではなく、必要に応じて訪問や来所にて相談に応じています。

また、相談に応じるだけではなく、市全体の福祉の向上と相談者の自立生活を支援するための基盤として、地域の関係機関やボランティアの方などと協働で、健康福祉のセーフティーネット（いきいきネット）づくりにも日々取り組んでいます。

「どこに相談したらよいかわからない」という方でも、まずはお気軽にご相談ください

いきいきネット相談支援センターCSW 喜屋武千恵 <相談事業>

月曜日～金曜日 AM9:00～PM5:30

電話 072-844-8866 (枚方人権まちづくり協会内)

人権まちづくり協会会員随時募集

2015年度第2回協会事業

「おせいさん(田辺聖子)の昭和」

3月18日(金)午後2時開演

会場 メセナひらかた 多目的ホール



出演 朗読劇団 言葉座

共催 枚方人権まちづくり協会 枚方市